

に切り欠く複雑な形になり、施工手間・型枠強度・コンクリートのこぼれ等が問題となる。そのためファブにて小口PLを取付け現場施工の簡略化を図った（図-3）。

4. 施工手順

当該複合構造物の施工手順を以下に示す。

- ① 柱配筋
- ② 柱・壁型枠建込
- ③ 梁型枠+複合梁底型枠
- ④ 壁配筋
- ⑤ 壁型枠返し
- ⑥ 複合梁下筋配筋（キャップタイ及び上筋は後施工）
- ⑦ 鉄骨受け支保工組立て（写真-1）
- ⑧ S 梁鉄骨据付（写真-2，写真-3）
- ⑨ 複合梁側型枠（鉄骨仕口部は小口 PL にて製作済）
- ⑩ S 小梁鉄骨取付（写真-4）
- ⑪ 合成デッキ敷込み
- ⑫ 一般梁，複合梁上筋，キャップタイ配筋（写真-5）
- ⑬ 溶接金網敷込（写真-6）

5. まとめ

当該複合構造物の施工に於いて、S 小梁の仕口部分を変更し、鉄骨受け支保工を設置することによって、在来工法と同様に梁スラブ一体でコンクリートを打込むことができ、工期短縮が図れた。

また、今回の施工方法の採用により、梁配筋，コンクリート打設等の施工用内部足場を大幅に減らし、作業スペースを確保することで、より安全で効率的な躯体工事となった。さらに、梁スラブ一体でコンクリートを打込むことにより、平面的に広い建物の打継部が少なくなり、仕上げへの影響も低減できた。

今後、同様な複合構造物の工事で、本工事の施工手順・施工方法が参考となれば幸いである。

謝辞: 本工事に於いて、西予市新病院建設推進室の方々、山下設計関西支社の方々、ならびに本社・支店各部の方々にご指導，ご協力をいただきました。この場をお借りして感謝の意を表します。



写真-1 鉄骨受け支保工組完了



写真-4 鉄骨梁据付完了



写真-2 鉄骨揚重状況 (190t クレーン)



写真-5 複合梁上筋配筋完了



写真-3 鉄骨大梁据付状況 (複合梁部分)



写真-6 溶接金網敷込完了